

新NISA制度における成長投資枠対象ファンドについて (2023年11月1日現在)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年1月より開始される新しいNISA制度が開始されます。当該制度において、弊社の成長投資枠の対象ファンドは以下の通りです。なお、下記リストは2023年11月1日現在の対象ファンドを記載したものです。今後も弊社にて制度要件の確認が完了したファンドから、順次、一般社団法人投資信託協会への届出を予定しております。なお、現時点でつみたて投資枠対象ファンドはありません。

届出を行った成長投資枠対象ファンド一覧（11ファンド）

ファンド名	ファンド紹介URL
スパークス・新・国際優良日本株ファンド（愛称：厳選投資）	https://www.sparx.co.jp/mutual/gen.html
スパークス・企業価値創造日本株ファンド	https://www.sparx.co.jp/mutual/vcj.html
スパークス・日本株式スチュワードシップ・ファンド（愛称：対話の力）	https://www.sparx.co.jp/mutual/stw.html
スパークス・M & S・ジャパン・ファンド（愛称：華咲く中小型）	https://www.sparx.co.jp/mutual/hana.html
スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド（愛称：ライジング・サン）	https://www.sparx.co.jp/mutual/rsn.html
スパークス・プレミアム・日本超小型株式ファンド（愛称：価値発掘）	https://www.sparx.co.jp/mutual/prm.html
スパークス・アクティブ・ジャパン（愛称：キョウソウのバトン）	https://www.sparx.co.jp/mutual/ajn.html
スパークス・ジャパン・オープン（愛称：キョウソウの架け橋）	https://www.sparx.co.jp/mutual/jpo.html
スパークス・ベスト・ピック・ファンド（ヘッジ型）	https://www.sparx.co.jp/mutual/hd2.html
スパークス・新・国際優良アジア株ファンド（愛称：アジア厳選投資）	https://www.sparx.co.jp/mutual/ags.html
スパークス・新・国際優良日本アジア株ファンド（愛称：日本アジア厳選投資）	https://www.sparx.co.jp/mutual/jag.html

届出を行っていないファンド一覧（7ファンド）

ファンド名	ファンド紹介URL
スパークス・少数精鋭・日本株ファンド	https://www.sparx.co.jp/mutual/sss.html
スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド（愛称：ベスト・アルファ）	https://www.sparx.co.jp/mutual/bsa.html
スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ（日本・アジア）マーケットヘッジあり	https://www.sparx.co.jp/mutual/b2h.html
スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ（日本・アジア）マーケットヘッジなし	https://www.sparx.co.jp/mutual/b2u.html
スパークス・アジア中東株式ファンド（隔月分配型）	https://www.sparx.co.jp/mutual/nsa.html
スパークス・アジア中東株式ファンド（資産成長型）	https://www.sparx.co.jp/mutual/nsg.html
スパークス・韓国株ファンド（愛称：韓国厳選投資）	https://www.sparx.co.jp/mutual/kgm.html

※ 確定拠出年金向けファンドや投資一任契約に基づくファンドも届出を行っていません。

■投資信託の留意点

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客様が実際にご購入される個々の投資信託に適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なるため、費用の料率はスパークス・アセット・マネジメント株式会社が運用する投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定の投資信託の取得をご希望の場合には、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断で行っていただくようお願いいたします。

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式、公社債および不動産投資信託証券などの値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元本を割り込むことがあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。

特化型のファンドは、分散投資を行う一般的な投資信託とは異なり、銘柄を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は非常に大きくなる可能性があります。

ロング・ショート戦略のファンドは売建て（ショート・ポジション）取引を行いますので、売建てた株式が値上がりした場合、基準価額が下落する要因となります。また、ロング・ポジションおよびショート・ポジションの双方が誤っていた場合、双方に損失が発生するために、通常の株式投資信託における損失よりも大きくなる可能性があります。

上記は投資信託に係るリスクの一部を記載したものであり、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

■ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	上限3.85% (税込)
換金手数料	なし
信託財産留保額	上限0.5%
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 (信託報酬)	上限2.057% (税込)
実績報酬	投資信託により、実績報酬がかかる場合があります。
その他の費用・ 手数料	監査費用、目論見書や運用報告書等の作成費用など諸費用等ならびに組入有価証券（ファンドを含む）の売買の際に発生する売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建て資産の保管費用等を信託財産でご負担いただきます。組入有価証券がファンドの場合には、上記の他に受託会社報酬、保管会社報酬などの費用がかかる場合があります。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

- ※ 上記の費用、手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。
- ※ 実績報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。
- ※ 投資信託により異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせ下さい。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

商号等： 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号
 加入協会： 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当資料は情報提供のみを目的としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号：03-6711-9170（受付時間：営業日9：00～17：00）